



同社オフィス風景



毎月必ず行っている
経営方針発表会も、
すでに20期を数えます

若い会社、若い社長こそ、 経営指針を持つべきです

ソフトウェアの受託開発企業として活躍する株式会社ネットコア。「宇都宮まちづくり貢献企業」認証など、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいきます。その根幹には、しっかりと経営指針がありました。大澤章利社長に、企業活動の要となる「経営指針」にこめた想いをうかがいました。

「経

営指針、経営理念と呼ばれるものは、いわば

会社の柱です。企業にとっては絶対に必要です」と力説する大澤社長。「平成17年に会社法が改正され、少ない資本金で会社設立が可能になりました。場合によると数万円で社長になれる時代です。けれどもそれではまだ「経営者」とは言えません。経営指針をつくって、初めて「経営者」と胸をはって言えるのではないのでしょうか」

「社長も人間。悩む時もぶれる時もあります。そんな時に



「まいぶけい」宇都宮版は
同社が管理運営

経営指針があれば、それが羅針盤の役割を果たし、正しい進路を示してくれます——」そう

話す大澤社長ですが、同社も創業時から経営指針をつくっていたわけではありません。

「経営指針（社是・経営理念など）をつくったのは、創業してから約5年たった15年前のことです。これからより大きく事業を進めていくためには、会社組織をしっかりとさせないといけない。それには経営指針が不可欠だと

痛感しました。それから一生懸命勉強しました。セミナーに参加したり、税理士に相談したり。志を同じくする社長たちと勉強会を開いたりして、少しずつ形にして行きました。その経験が今も生きています」

会社の基本精神である「社是」や、会社の創業理念・存続の意義を言葉にした「経営理念」は、一度定めた後はほとんど変更しません。同社ではその下に、中期的な目的である「基本方針」、年次計画である「経営計画」などが定められています。

つくるのも大変ですが、それを生きたものにするためには、社員全員にしっかりと浸透させなくてはなりません。同社ではどのようにしているのでしょうか。

「最も重要なのは朝礼です。毎

日15分間の朝礼を行います。その際必ず経営指針書を持ち、繰り返し読んでもらうことで、頭の中に確実に残るようにしています。たった15分ですが、1カ月で5時間分にもなりますから、重要な社員教育の時間です」

もちろん、業務を通じて繰り返し社是・経営理念などを意識させ、行動の基本になるよう工夫しているそうです。

毎月、誕生日を迎える社員などと食事をしながら直接話す「社長塾」や、会社の福利厚生などを行う4つの委員会活動といったユニークな試みも、同社の特色でしょう。

近年は地域情報サイト「まいぶれ」宇都宮版の運営も行っている同社。地域の中にある強みを、さらに発揮していくでしょう。

社是

明るく楽しく…
喜びと感動の経営を

経営理念

1. 私たちは、最適なICTソリューションを提供し、お客様の持続的な繁栄に貢献します。
2. 私たちは、CSRを重視した事業活動をとおり、社会の進歩・発展に貢献します。
3. 私たちは、全社員と当社に関わるすべての人達の物心両面の幸福（しあわせ）を追求します。

Information

株式会社ネットコア
代表取締役 大澤 章利
設立 / 平成8年3月
所在地 / 宇都宮市鶴田2-5-24
☎ 028-649-0111
http://www.netcore.co.jp



株式会社ネットコア
代表取締役 大澤章利氏